



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 17 年 1 月 28 日

上場会社名 株式会社日清製粉グループ本社

上場取引所 東 大

コード番号 2002

本社所在都道府県

(URL <http://www.nisshin.com>)

東京都

代 表 者 役 職 名 取締役社長

氏 名 長谷川 浩嗣

問合せ先責任者 役 職 名 執行役員 総務本部 広報グループ長

氏 名 森 裕行

(TEL: (03) - 5282 - 6650)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

・固定資産の減価償却の方法については、影響が僅少なため、簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 比較の便宜上、16 年 3 月期第 3 四半期については参考数値を表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	311,499	6.8	16,841	1.1	18,307	3.6	9,790	9.6
(参考)16 年 3 月期第 3 四半期	334,276	-	16,655	-	17,664	-	8,935	-
16 年 3 月期	434,125		21,756		22,893		11,575	

	1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	42	34	42	32
(参考)16 年 3 月期第 3 四半期	38	34	38	34
16 年 3 月期	49	16	49	16

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

[当第 3 四半期の概況]

当第 3 四半期 (平成 16 年 4 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで) の業績につきましては、主力の製粉事業・食品事業を始め各事業において、お客様から高い支持を得られる新製品や高付加価値製品を市場投入するとともに、販促活動や新チャネル開拓を積極的に進め、出荷伸長を図りました。また引続き、コスト削減を実現いたしました。当第 3 四半期には、記録的な猛暑や台風の上陸、新潟県中越地震、インド洋大津波等、国内外における天候異常、自然災害等もありましたが、当社への直接の影響は軽微にとどめることが出来ました。

この結果、売上高は一昨年 10 月に配合飼料事業を持分法適用会社へ移行させた影響により 3,114 億 99 百万円 (前年同期比 6.8% 減) と減収となりましたが、経常利益は配合飼料事業や事業税の会計処理の変更による影響等を吸収し 183 億 7 百万円 (前年同期比 3.6% 増)、四半期純利益は 97 億 90 百万円 (前年同期比 9.6% 増) と、各々増益となりました。

[セグメント別営業概況]

製粉事業

小麦粉の出荷につきましては、市場の変化を的確にとらえたお客様とのリレーションシップ・マーケティングを更に推進するとともに、新製品の投入などによる小麦粉需要の拡大に努め、出荷は前年を上回りました。

国際競争力の一層の強化を図るため、平成 20 年春完成予定で東灘工場に 2 ラインの最新鋭ミル増設と神戸工場の閉鎖を決定いたしました。

また品質管理面では、卸売業界を含めた「クリーン & セイフティーキャンペーン」を継続して展開し、安心・安全対策を強化してまいりました。

海外戦略につきましては、昨年 12 月にカナダの子会社ロジャーズ・フーズ (株) の新鋭製粉工場がバンクーバー近郊に完成したのを機に、北米市場における事業の拡大を進めてまいります。

食品事業

日清フーズ(株)につきましては、昨春全国発売いたしました「マ・マー 2分で作れるアルデンティー」シリーズをはじめとして積極的なマーケティング活動や販促活動を展開し、パスタ・乾麺・天ぷら粉・から揚げ粉や家庭用冷凍食品などの出荷がいずれも前年を上回りました。中食事業につきましては、生産効率の改善により業績が順調に推移いたしました。また、昨年3月に設立いたしました同事業の戦略会社イニシオフーズ(株)は、昨年12月グループ本社内に惣菜に関する基礎及び応用開発の研究を総合的に行うための中食研究室を設け事業の基盤技術開発体制を整備する中で営業活動を順調に開始いたしました。

日清ファルマ(株)につきましては、主力製品のコエンザイムQ₁₀の国内出荷が認知度の更なる高まりや水溶性タイプの拡販により、素材・末端製品とも好調に推移するとともに、コエンザイムQ₁₀以外の新素材、新製品開発に注力しております。

オリエンタル酵母工業(株)につきましては、食品部門では主力製品のイースト等の出荷が順調に推移いたしました。猛暑によるパン消費不振の影響もあり一部製パン用原材料の出荷は前年を下回りました。また、バイオ部門は研究支援の受託事業等は順調に推移いたしました。細胞培養製品等の出荷は前年を下回りました。

その他事業

日清ペットフード(株)につきましては、キャットフードの出荷は引続き順調でしたが、ドッグフードも新製品「ラン・ミール・ミックス」の小袋タイプの出荷は順調に推移いたしました。

日清エンジニアリング(株)につきましては、企業の設備投資が回復基調にある中、売上は前年を上回り、受注残も大幅に増加しております。また昨年10月には粉体加工、粉体機器の開発を行う上福岡事業所を新設し、お客様へのきめ細かな対応により事業の拡大を図っております。

NBC(株)につきましては、主力のスクリーン印刷用メッシュクロスの出荷が高付加価値のプリント基盤向け高精細メッシュクロスを始めとして国内外とも伸長したのに加え、産業素材用メッシュクロスなどの出荷も順調に推移いたしました。併せてコスト競争力の更なる強化を図ってまいりました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 3月期第3四半期	372,230	236,737	63.6	1,023 94
(参考)16年 3月期第3四半期	355,676	224,430	63.1	970 64
16年 3月期	359,820	230,555	64.1	996 59

(注)1.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.比較の便宜上、16年3月期第3四半期については参考数値を表示しております。

【連結キャッシュ・フロー - の状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー -	投資活動による キャッシュ・フロー -	財務活動による キャッシュ・フロー -	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年 3月期第3四半期	14,724	11,951	3,971	53,255
(参考)16年 3月期第3四半期	15,713	7,671	5,551	51,240
16年 3月期	20,999	7,931	7,549	54,154

(注)1.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.比較の便宜上、16年3月期第3四半期については参考数値を表示しております。

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

順調な業績を受けて、営業活動による資金増加は147億24百万円となりました。この資金をIT投資、海外新製粉工場建設、製品安全を目指した品質管理投資などの戦略投資に124億57百万円投入し、積極的なキャッシュの活用を図ると共に、株主の皆様への利益還元として業績・財務状況を勘案し27億80百万円の配当を実施しました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ8億99百万円減少し、532億55百万円となりました。

○添付資料

要約四半期連結貸借対照表、要約四半期連結損益計算書

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

[参 考]

平成 17年 3月期の連結業績予想 (平成 16年 4月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	422,000	24,100	12,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 54円76銭(第3四半期末の普通株式の発行済株式数(連結)により算定)

【業績予想に関する定性的情報等】

業績は平成16年11月11日発表の業績予想通り順調に推移しており、業績予想の変更はありません。

(注)上記の予想は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値等を確約したり、保証するものではありません。

(添付資料)

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	(参 考) 前 年 同 四 半 期 (平成16年3月期 第3四半期) (15.12.31)	当 四 半 期 (平成17年3月期 第3四半期) (16.12.31)	比 較 (は 減)	前連結会計年度 (16.3.31)
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	160,142	171,039	10,897	158,289
現 金 及 び 預 金	38,240	53,273	15,033	29,173
受取手形及び売掛金	59,348	63,784	4,436	55,238
有 価 証 券	18,200	3,943	14,257	28,301
た な 卸 資 産	32,224	37,379	5,155	33,858
その他の流動資産	12,395	12,900	504	11,962
貸 倒 引 当 金	266	241	24	245
固 定 資 産	195,534	201,190	5,656	201,530
有 形 固 定 資 産	109,344	109,185	159	108,868
建 物 及 び 構 築 物	42,309	41,848	460	42,280
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	33,870	31,905	1,964	33,028
土 地	28,601	29,245	643	29,249
その他の有形固定資産	4,562	6,185	1,622	4,310
無 形 固 定 資 産	5,995	9,307	3,311	7,439
投 資 そ の 他 の 資 産	80,194	82,698	2,504	85,222
投 資 有 価 証 券	71,039	75,068	4,028	77,272
その他の投資その他の資産	9,851	8,260	1,591	8,516
貸 倒 引 当 金	696	629	66	566
資 産 合 計	355,676	372,230	16,554	359,820

(単位：百万円)

科 目	(参 考) 前 年 同 四 半 期 (平成16年3月期 第3四半期) (15.12.31)	当 四 半 期 (平成17年3月期 第3四半期) (16.12.31)	比 較 (は 減)	前連結会計年度 (16.3.31)
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	68,054	71,216	3,161	64,026
支払手形及び買掛金	27,389	30,638	3,249	22,797
短 期 借 入 金	10,771	8,350	2,421	8,424
未 払 費 用	13,755	12,616	1,139	15,108
その他の流動負債	16,137	19,611	3,473	17,697
固 定 負 債	38,129	37,832	296	39,873
社 債	327	-	327	77
長 期 借 入 金	1,622	1,779	156	2,219
繰 延 税 金 負 債	11,937	12,362	424	13,401
退職給付引当金	16,255	15,564	690	16,044
その他の固定負債	7,986	8,126	139	8,131
負 債 合 計	106,184	109,049	2,865	103,899
少 数 株 主 持 分	25,061	26,443	1,381	25,364
少 数 株 主 持 分	25,061	26,443	1,381	25,364
(資 本 の 部)				
資 本 金	17,117	17,117	-	17,117
資 本 剰 余 金	9,446	9,451	4	9,446
利 益 剰 余 金	178,690	186,887	8,197	179,241
その他有価証券評価差額金	23,408	25,543	2,134	27,177
為 替 換 算 調 整 勘 定	742	823	81	1,012
自 己 株 式	3,489	1,438	2,051	1,414
資 本 合 計	224,430	236,737	12,306	230,555
負債、少数株主持分 及 び 資 本 合 計	355,676	372,230	16,554	359,820

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 比較の便宜上、16年3月期第3四半期については参考数値を表示しております。

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	(参考) 前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期) (15. 4. 1 ~ 15. 12. 31)	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (16. 4. 1 ~ 16. 12. 31)	比 較 (増 減)	前連結会計年度 (15. 4. 1 ~ 16. 3. 31)
売上高	334,276	311,499	22,776	434,125
売上原価	232,924	211,051	21,872	302,079
売上総利益	101,352	100,448	903	132,046
販売費及び一般管理費	84,696	83,606	1,090	110,289
営業利益	16,655	16,841	186	21,756
営業外収益	1,877	2,298	420	2,442
受取利息	62	39	22	79
受取配当金	612	544	68	767
持分法による投資利益	626	860	234	840
雑収入	576	853	277	755
営業外費用	869	832	37	1,305
支払利息	205	143	61	266
雑損失	663	688	24	1,039
経常利益	17,664	18,307	643	22,893
特別利益	2,684	742	1,942	3,366
固定資産処分益	105	87	17	103
投資有価証券処分益	47	551	503	691
飼料事業経営統合に伴う営業移転利益	2,513	-	2,513	2,513
その他	17	103	85	57
特別損失	2,432	998	1,433	3,048
固定資産処分損	231	621	390	735
飼料事業経営統合関連費用	2,200	-	2,200	2,218
その他	-	376	376	94
税金等調整前四半期(当期)純利益	17,916	18,051	135	23,211
法人税、住民税及び事業税	7,395	6,635	760	10,269
法人税等調整額	-	-	-	535
少数株主利益	1,585	1,626	41	1,902
四半期(当期)純利益	8,935	9,790	854	11,575

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 比較の便宜上、16年3月期第3四半期については参考数値を表示しております。

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	(参考) 前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期) (15.4.1～15.12.31)	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (16.4.1～16.12.31)	前連結会計年度 (15.4.1～16.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	17,916	18,051	23,211
減価償却費	8,901	8,642	11,813
利息戻及び受取配当金	469	440	580
持分法による投資利益	626	860	840
売上債権の増減額	5,098	8,442	789
たな卸資産の増減額	1,981	3,476	272
仕入債務の増減額	3,908	7,771	668
未成工事受入金の増減額	679	3,682	719
そ の 他	594	670	90
小 計	26,429	24,258	31,608
利息及び配当金の受取額	881	676	1,044
利息の支払額	192	152	247
法人税等の支払額	11,404	10,058	11,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,713	14,724	20,999
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得・売却	2,609	348	509
有無形固定資産の取得による支出	11,795	12,457	15,428
投資有価証券の取得・売却	186	570	652
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出と同社保有の現金及び現金同等物との差額	6,601	-	6,601
そ の 他	317	284	752
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,671	11,951	7,931
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額	1,192	576	2,912
自己株式の取得による支出	1,831	107	1,847
配当金の支払額	2,220	2,780	2,220
そ の 他	307	507	569
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,551	3,971	7,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	88	129
現金及び現金同等物の増減額	2,474	1,110	5,389
現金及び現金同等物の期首残高	48,789	54,154	48,789
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	210	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	23	-	23
現金及び現金同等物の期末残高	51,240	53,255	54,154

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 比較の便宜上、16年3月期第3四半期については参考数値を表示しております。

4. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期（平成17年3月期第3四半期 平成16年4月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	製粉	食品	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	116,761	167,023	27,714	311,499	(-)	311,499
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,226	569	1,444	17,240	(17,240)	-
計	131,988	167,592	29,159	328,740	(17,240)	311,499
営業費用	123,870	161,448	25,577	310,896	(16,238)	294,657
営業利益	8,118	6,144	3,582	17,844	(1,002)	16,841

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製粉…小麦粉、ふすま

食品…プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他…ペットフード、設備工事、メッシュクロス、荷役・保管

3. 当四半期の営業費用には、事業税外形標準課税額 349百万円（第3四半期分）が含まれております。

(参考) 前年同四半期（平成16年3月期第3四半期 平成15年4月1日～平成15年12月31日）

（単位：百万円）

	製粉	食品	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	114,868	165,665	53,742	334,276	(-)	334,276
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	16,166	642	1,398	18,207	(18,207)	-
計	131,035	166,307	55,140	352,483	(18,207)	334,276
営業費用	123,610	160,463	51,336	335,409	(17,789)	317,620
営業利益	7,425	5,844	3,804	17,074	(418)	16,655

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製粉…小麦粉、ふすま

食品…プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他…ペットフード、設備工事、メッシュクロス、配合飼料、荷役・保管

3. 飼料事業は平成15年10月の経営統合により、配合飼料事業子会社が持分法適用会社となったため、その他セグメントに含めております。なお、その他セグメントに含まれている配合飼料事業の売上高は28,127百万円、営業利益は927百万円であります。

前連結会計年度（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	製粉	食品	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	153,081	216,825	64,218	434,125	(-)	434,125
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,170	859	3,065	25,094	(25,094)	-
計	174,251	217,685	67,284	459,220	(25,094)	434,125
営業費用	164,105	210,441	62,273	436,821	(24,452)	412,368
営業利益	10,145	7,243	5,010	22,399	(642)	21,756

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製粉…小麦粉、ふすま

食品…プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他…ペットフード、設備工事、メッシュクロス、配合飼料、荷役・保管